




令和5年度 基本評価調書		所管部局	水産林務部	所管課	水産経営課		
施策名	道産水産物の国内競争力の強化			施策コード	0711		
政策体系(中項目)	本道の優位性を活かした力強い地域産業の創造			政策体系コード	2 (2) B		
関連重点戦略計画等	創生総合戦略 強靱化計画 北海道総合計画					事務事業数	5
特定分野別計画	北海道水産業・漁村振興推進計画						
SDGs				総合判定	概ね順調		
予算額(千円)	R 5	17,723千円	R 4	67,966千円	R 3	44,103千円	

施策目標	学校給食等での提供促進による魚食習慣の定着や、国内における販売促進PR等により、道産水産物の消費拡大を図る。					
現状と課題	(道産水産物の消費や販路の拡大) 「魚離れ」と言われるように水産物の国内消費は減少傾向にあり、需給バランスの崩れなど、魚価への影響が懸念されることから、国内消費の拡大に向けた対策が必要である。また、近年における海洋環境の変化に伴う漁業生産の変動など、状況に応じた取り組みが必要である。					
前年度二次評価意見	-					
対応状況	-					

〈主な取組〉

今年度の取組	<p>(道産水産物の消費や販路の拡大)</p> <ul style="list-style-type: none"> 道産水産物の魚価の維持・安定を図るため、学校給食への導入や販売促進等の取組に対して支援を行い、魚食習慣の定着促進や多様な魚食形態の創出を図る。 近年漁獲が増加しているイワシやブリ等、資源の有効活用にあたり、メニュー提案やPRなどの販売促進を行い、道産水産物の需要拡大を図る。 					
実績と成果	<p>(道産水産物の消費や販路の拡大)</p> <p>令和4年度は、魚食普及推進事業により学校給食への導入促進や新たな加工品開発等に対し計7件の補助を、水産物の持続的活用推進事業により道産水産物のPRや販促活動等に対して補助を行った。また、資源増大魚種については、令和3年度に道内9都市圏でマイワシ、ブリ及びニシンフェアを、令和4年度は道内全域で同様のフェアを開催し、これら魚種の消費喚起を行った。本フェアをきっかけとして、上記3魚種の関心の高まりや認知度の向上が図られた。</p>					
参考HP①	とれてます! Oh! さかなレシピについて https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/ske/osakanarecipe.html					
参考HP②	とれてます! Oh!! さかなフェアについて https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/ske/ohsakana2022.html					
参考HP③						

<指標分析> ⇒ 成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

指標名①	増加	億円	H30年度	R元年度	R2年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
食品工業の付加価値額（暦年）		目標値	6,842	6,910	6,979	7,200	94.6%	B
		実績値	6,730	6,862	6,604	—		

設定理由 食品工業（農産物など水産物以外を含む）の付加価値額を把握する指標であり、課題である水産物の国内消費の拡大に向けた取組の成果を間接的に測る指標として設定。

指標公表時期 毎年調査、翌々年5月以降公表 **出典（根拠計画等）** 経済産業省「経済センサス」

分析（主な取組と成果）

補助事業やフェアの実施等の取組によりほぼ目標値を達成しているが、「魚離れ」といわれるように水産物の国内消費は減少傾向にあることから、引き続き道産水産物の付加価値向上と消費拡大に向けた取組を進めていくことが重要であると認識している。

指標名②			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
		目標値					—	—
		実績値						

設定理由

指標公表時期 **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

指標名③			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
		目標値					—	—
		実績値						

設定理由

指標公表時期 **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

指標名④			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
		目標値					—	—
		実績値						

設定理由

指標公表時期 **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

指標名⑤			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
		目標値					—	—
		実績値						

設定理由

指標公表時期 **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

〈取組分析（連携状況、緊急性・優先性）〉

連携状況	(課題) 「魚離れ」と言われるように水産物の国内消費は減少傾向にあり、需給バランスの崩れなど、魚価への影響が懸念されることから、国内消費の拡大に向けた対策が必要である。また、近年における海洋環境の変化に伴う漁業生産の変動など、状況に応じた取り進めが必要である。
	(取組) 道産水産物の消費拡大に向けて、「今こそ食べよう北海道」キャンペーン等にて経済部及び農政部と連携した取組を行っているほか、漁業者団体や企業などと連携した消費拡大・魚食普及の取組を実施している。特に企業とは資源増大魚種であるマイワシを活用した新商品の開発・販売や道の作成したレシピリーフレットの配布等を連携して行った。
緊急性 優先性	(課題) ・「魚離れ」と言われるように水産物の国内消費は減少傾向にあり、需給バランスの崩れなど、魚価への影響が懸念されることから、国内消費の拡大に向けた対策が必要である。また、近年における海洋環境の変化に伴う漁業生産の変動など、状況に応じた取り進めが必要である。 ・今後、ALPS処理水の海洋放出に対する中国の輸入停止措置に伴い、道産水産物の国内消費促進や国内販路の拡大等の取組が重要である。
	(取組) 中国による輸入停止措置を受けて、国に対し、輸入停止の即時撤廃や安全性の確保、風評被害の防止などについて要請を実施(R5.8～)。 また今後、生産・流通・加工関係者からの意見・要望を踏まえ、対応策を検討するとともに、道産水産物の国内消費促進や国内販路の拡大等の取組を推進。

〈取組分析（その他の統計数値等）〉

□ 成果指標で課題への対応を説明済

統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
食品工業の付加価値額（道産水産物）（億円）	1,533.0 (H30)	1,548.0 (R元)	1,503.0 (R2)
分析等			
(課題) 「魚離れ」と言われるように水産物の国内消費は減少傾向にあり、需給バランスの崩れなど、魚価への影響が懸念されることから、国内消費の拡大に向けた対策が必要である。また、近年における海洋環境の変化に伴う漁業生産の変動など、状況に応じた取り進めが必要である。			
(分析等) 水産物の国内消費は減少傾向にあることから、引き続き道産水産物の付加価値向上と消費拡大に向けた取組を進めていくことが重要であると認識している。			b
統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
分析等			
(課題)			
(分析等)			
統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度
分析等			
(課題)			
(分析等)			

〈総合判定〉

指標判定	B	連携状況	○	総合判定	概ね順調
		緊急性・優先性	○		
		その他の統計数値等	b		

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標

(-)

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた対応方針	①	本道主要魚種の水揚げが減少する中、近年水揚げが増加している魚種（マイワシ、ブリ、ニシン等）を新たな資源として有効に活用するため、消費者に対するPRや販売促進などに取り組み、消費の拡大を図る。
	②	道産水産物の魚価の安定を図るため、給食への導入や販売促進等の取組に対して支援を行い、魚食習慣の定着促進や多様な魚食形態の創出を図る。
	③	

〈二次政策評価〉

二次政策評価	
--------	--

令和5年度 事務事業評価調書	施策名	道産水産物の国内競争力の強化	施策コード	0711
-----------------------	-----	----------------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	事業費 (千円)	執行体制			フル コスト (千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	
								うち 一般財源	本庁	出先機関		人工計	対応 方針 番号		方向性
0246	-	事務	社団法人北海道水産物検査協会に関すること	(社)北海道水産物検査協会が行う業務の指導に関する事務。	水産経営課		0	0	0.1	0.0	0.1	784			
0247	-	事務	北海道水産物加工協同組合連合会に関すること	北海道水産物加工連が行う業務の指導に関する事務。	水産経営課		0	0	0.1	0.0	0.1	784	②	改善(指標分析)	
0248	-	事務	ブランド化に関すること	道産水産物のブランド化に関する事務。	水産経営課		0	0	0.1	0.0	0.1	784	②	改善(指標分析)	
0249	-	一般	道産水産物魚食普及推進事業	学校給食や外食・中食向けの製品開発等、魚食普及対策。	水産経営課		4,300	200	0.5	0.1	0.6	9,004	②	改善(指標分析)	
0256	-	一般	道産水産物需要拡大事業費	資源が増加している魚種の有効活用など、道内外での道産水産物の消費拡大対策。	水産経営課		13,423	6,764	0.8	0.0	0.8	19,695	①	改善(指標分析)	
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
計							0	17,723	6,964	1.6	0.1	1.7			